

安全衛生上の注意事項

『注意事項』下記の注意を守ってご使用下さい。

1. 容器からこぼれた場合には、砂などを散布したのち処理して下さい。
2. 取り扱い後は、手洗い及びうがいを充分に行ってください。
3. 目に入った場合には、多量の水で洗い、出来るだけ早く医師の診察を受けて下さい。
4. 誤って飲み込んだ場合には、出来るだけ早く医師の診察を受けて下さい。
5. よくフタをして、一定の場所に定めて貯蔵して下さい。
6. 子供の手の届かないところに保管して下さい。
7. 中身を使い切ってから廃棄して下さい。
8. 皮膚に付着した場合は、多量の石鹼水で洗い落して下さい。
9. 容器はつり上げないで下さい。やむを得ずつり上げる時は、適切なつり具で垂直に持ち上げ、落下に充分注意して下さい。

取扱いまたは使用に際し、製品安全データシート(SDS)を必ずお読み下さい。

® オリエンタル塗料工業株式会社

本社・工場 〒547-0001 大阪市平野区加美北4丁目5番38号
TEL (06)6791-4031番(代表)
FAX (06)6791-4034番

福岡営業所 〒814-0161 福岡市早良区飯倉3丁目29-8
TEL (092)831-2281

東日本営業所 〒343-0036 埼玉県越谷市三野宮476 ミルトクラール1番館102号
TEL (048)940-3927

ホームページ: <http://www.oriental-toryo.jp>

取扱店



乾式コンクリート瓦塗り替え兼用屋根補修塗料

マイティールーフ#200

特殊アクリルウレタン樹脂塗料

塗り替え対象屋根材

◎乾式コンクリート瓦

(モニエル瓦・クボタ洋瓦・スカンジヤ瓦・ハルモリック乾式瓦等)

◎カラー鋼板屋根

◎亜鉛引鉄板屋根

◎薄形化粧スレート

◎厚形スレート・プレスセメント瓦

※無塗装、又は旧塗膜が2液性の被塗物に使用可能

**注意: 塗り替え対象屋根材以外に
使用しないで下さい。**

注: 塗料では瓦の割れの補修及び防止は出来ませんので、
割れの発生している瓦への塗装は避けてください。
割れが発生している瓦は差し替えてから塗装してください。
また、凍破を防止することはできませんのでご注意ください。

屋根塗り替え塗料のパイオニア
® オリエンタル塗料工業株式会社

特 長

- ①従来塗り替えが困難とされてきた乾式コンクリート瓦にも密着します。
- ②特殊アクリルウレタン樹脂を使用しているため、光沢が良く、耐候性にすぐれ、長期にわたって艶が落ちません。
- ③亜鉛引鉄板屋根との密着が良く、経時的にも低下しません。
- ④取扱いが簡単で、乾燥が早く作業性に優れています。
- ⑤耐水性、耐薬品性が良く、初期の色彩を失いません。
- ⑥ハケ、ローラー、吹付けのいずれでも塗装できます。

用 途

- ◎乾式コンクリート瓦 (モニエル瓦・クボタ洋瓦・スカンジヤ瓦・ハルモリック乾式瓦等)
- ◎カラー鋼板屋根
- ◎亜鉛引鉄板屋根
- ◎薄形化粧スレート
- ◎厚形スレート・プレスセメント瓦 ※無塗装、又は旧塗膜が2液性の被塗物に使用可能

標準塗装仕様

I. 乾式コンクリート瓦(モニエル瓦・スカンジヤ瓦・クボタ洋瓦・ハルモリック乾式瓦) 5年以上経過したもの。 **下地の荒れ具合で3~4回の塗装が必要な場合があります。**

塗装工程	塗装方法	シンナー希釈率	塗布量	塗装間隔
素地の状態	5年以上経過し表面のクリアーが無くなったもの			
下地処理	<ul style="list-style-type: none"> ・ほこり、苔、かび、脆弱化したスラリー層などを高圧水洗(圧力15MPa、15ℓ/分以上の水量でノズルと瓦の間隔は30cm以内)で洗浄除去して下さい。 ・水洗後は充分乾燥して下さい。(乾いた軍手で色の付いている部分をこすり、色粉が付着しないか確認して下さい。) ※右記の「高圧水洗処理後、表面確認」を参照下さい。 			
第一塗装	エアレススプレー ハケ・ローラー	50%~70% 40%~60%	120~160㎡/18kgセット 110~150g/㎡	1時間以上 3時間以内
第二塗装	エアレススプレー ハケ・ローラー	40%~60% 30%~50%	120~160㎡/18kgセット 110~150g/㎡	必ず当日に 仕上げて下さい。

- ・第一塗装は少し多めのシンナーで希釈し素地に吸い込ませるように塗装を行って下さい。
- ・屋根に葺いてから数年しか経過していない瓦や軒下等は、クリアーが残っている可能性があります。クリアーが残っている場合は、リフティングが発生しますので1回塗装で終わって下さい。

II. 古いセメント瓦・古いスレート板

塗装工程	塗装方法	シンナー希釈率	塗布量	塗装間隔
素地の状態	旧塗膜が二液型塗料に限る(旧塗膜が一液アクリル塗料・水性塗料の場合塗装不可)			
下地処理	<ul style="list-style-type: none"> ・旧塗膜の剥離している部分をサンダー・ワイヤーブラシ等でケレンする。 ・素地表面の、ほこり、苔、かび等を高圧水洗で除去する。 			
第一塗装	エアレススプレー ハケ・ローラー	50%~70% 40%~60%	120~160㎡/18kgセット 110~150g/㎡	1時間以上 3時間以内
第二塗装	エアレススプレー ハケ・ローラー	40%~60% 30%~50%	120~160㎡/18kgセット 110~150g/㎡	必ず当日に 仕上げて下さい。

- ・第一塗装は少し多めのシンナーで希釈し素地に吸い込ませるように塗装を行って下さい。

III. 新しい薄形化粧スレート

塗装工程	塗装方法	シンナー希釈率	塗布量	塗装間隔
下地処理	・素地表面の、ほこり、苔、かび等を高圧水洗で除去する。			
第一塗装	エアレススプレー ハケ・ローラー	50%~70% 40%~60%	120~160㎡/18kgセット 110~150g/㎡	1時間以上 3時間以内
第二塗装	エアレススプレー ハケ・ローラー	40%~60% 30%~50%	120~160㎡/18kgセット 110~150g/㎡	必ず当日に 仕上げて下さい。

- ・第一塗装は少し多めのシンナーで希釈し素地に吸い込ませるように塗装を行って下さい。

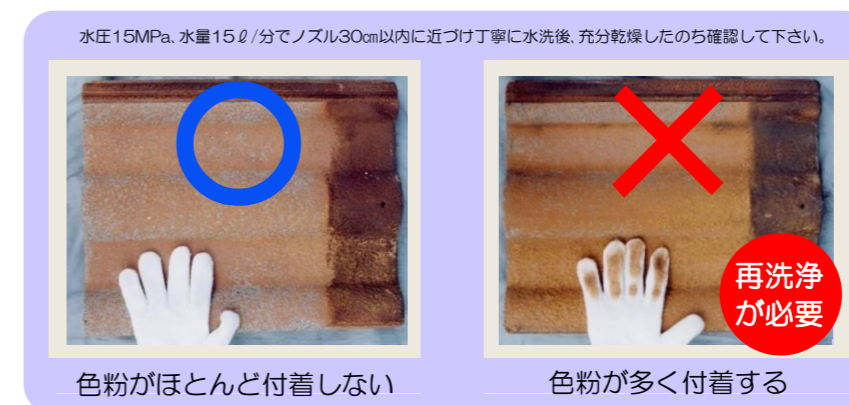
IV. カラー鋼板屋根・亜鉛引鉄板屋根

塗装工程	塗装方法	シンナー希釈率	塗布量	塗装間隔
下地処理	<ul style="list-style-type: none"> ・素地表面の、ほこり、苔、かび等を高圧水洗で除去する。 ・錆がある場合は適切な下地処理を行って下さい。 			
第一塗装	エアレススプレー ハケ・ローラー	40%~60% 30%~50%	120~160㎡/18kgセット 110~150g/㎡	1時間以上 3時間以内
第二塗装	エアレススプレー ハケ・ローラー	40%~60% 30%~50%	120~160㎡/18kgセット 110~150g/㎡	必ず当日に 仕上げて下さい。

使用上の注意点

- ①被塗物に付いているゴミ、ホコリ、コケ等を十分に洗浄して下さい。
- ②発錆箇所の浮き錆をサンダー・ワイヤーブラシなどで取り除いて下さい。
- ③古い塗膜が剥離して、浮いている部分は完全にケレンして下さい。
- ④他の塗料とは相溶性がありませんので混合しないで下さい。
- ⑤ハケ、ローラーで銀色系を塗装する場合、仕上がりが悪くなります。
- ⑥朝夕の結露の時期、被塗物が異常に高温の時、降雪雨の予想がされる時は塗装を避けて下さい。
- ⑦他のシンナーでは混ざりませんので、必ず専用シンナーをご使用下さい。
- ⑧主剤と硬化剤を混合後は8時間以内にご使用下さい。
- ⑨硬化剤は水分や湿気により変質しますので開栓後は、なるべく全部使用して下さい。
- ⑩旧塗膜が一液性(シンナーに溶ける)の場合は、塗装できませんのでご注意下さい。
- ⑪5年経過していない乾式瓦コンクリート瓦は塗装方法が異なりますのでご相談下さい。
- ⑫塗装ミストの飛散により周辺を汚しトラブルとなる事があります。塗装ミストが飛散しないように十分な養生を行って下さい。
- ⑬塗装間隔は1時間~3時間以内、その日の内に仕上げて下さい。塗装間隔がずれますとリフティングが発生する可能性があります。

高圧水洗処理後、表面確認



色粉がほとんど付着しない

色粉が多く付着する

荷 姿

	石油缶	小口缶
主 剤	15kg	5kg
硬化剤	3kg	1kg
合 計	18kgセット	6kgセット
シンナー	16ℓ	4ℓ

※このカタログの内容については、予告なく変更することがありますのであらかじめご了承ください。